

空調更新支援プロジェクト 提案概要

～ 初期投資ゼロで実現する設備更新と脱炭素化 ～

■ 企業が直面する 3 つの課題

① 電気代の高騰

旧型空調は最新機より消費電力が大幅に大きく固定費を圧迫。夏場の突発故障リスクも高い。

② 設備投資の壁

数千万単位の初期投資が必要で社内稟議・銀行借入枠を圧迫し対策が先送りされがちに。

③ 2027 年問題

省エネ規制で 2027 年以降は低効率機が廃止。エアコン価格が実質 40～80%上昇の見込み。今が最安タイミング。

■ ESCO モデルの仕組み

3 つの力の合成でコストゼロを実現

① SII 補助金（公的資金）

国が設備費の最大 1/2（中小）または 1/3（大企業）を負担

② 省エネ効果（無駄の回収）

新型機導入で消費電力を約 40%削減。削減電気代を返済原資に活用

③ 15 年分散回収（時間軸の分散）

月々の削減額内でサービス料を完結させる長期設計

キャッシュフローの流れ

【導入～回収期（5～7 年）】

削減電気代の 80%→ESCO サービス料 / 20%→お客様の純削減メリット

【回収完了後（～15 年目）】

削減電気代の 90%→お客様メリット / 10%→保守管理料のみ

【15 年満了後（16 年目以降）】

設備を無償譲渡 → 削減メリット 100%がお客様の利益に

■ 従来型との比較

項目	従来型（自己購入・リース）	ESCO モデル（本提案）
初期投資	数千万円の自己資金が必要	ゼロ（完全不要）
保守・修繕費	お客様負担（突発リスクあり）	15 年間すべて弊社負担
補助金申請	自社で煩雑な書類・手続き	弊社が完全代行
性能保証	メーカー保証期間のみ	15 年間の削減効果を継続保証
資産計上	オンバランス（固定資産税・減価償却の管理が必要）	オフバランス（賃貸感覚での利用）

■ SII 補助金の概要

補助率：中小企業 1/2 以内、大企業 1/3 以内

上限額：最大 30 億円（1 拠点あたり）

条件：導入前比較で 7%以上の省エネ達成

採択率：88%（高水準）

※申請書類・手続きはすべて弊社が代行

■ 導入 5 ステップ

① 無料省エネ診断・補助金申請（弊社代行）

② 補助金交付決定 → 契約締結

③ 最短工期での施工（業務影響最小化）

④ サービス開始（初月から削減メリット発生）

⑤ 最大 5 年間の効果モニタリング・レポート提出

まずは「無料シミュレーション」から — 電気明細 1 年分をご用意ください

15 年間のキャッシュフロー改善額を算出し、最適プランをご提示します